

はだの市民が創る男女共同社会推進会議

令和6年度 下半期活動報告

11月3日(祝・日) 市民の日



第45回市民の日に参加し、「男女共同参画社会」への関心を高め、意識の啓発を図ることを目的に、PR及び男女共同参画関連のアンケートを実施しました。アンケートには408人にご協力いただき、仕事・家事育児について「性別関係なく、できる方がすればいい」等といった意見がありました。



当日の様子

11月12日～25日 女性に対する暴力をなくす運動



市役所教育庁舎、図書館で展示及びグッズの配布を行いました。また、西庁舎フェンスへ横断幕の掲出、秦野駅のデジタルサイネージで啓発しました。また、女性に対する暴力根絶のシンボルであるパープルリボンにちなんで、本庁舎ではパープルライトアップを行いました。被害者に対して「ひとりで悩まず、まずは相談をしてください。」というメッセージが込められています。

図書館

教育庁舎



デジタルサイネージ



横断幕



パープルライトアップ

11月23日(祝・土) 人権・男女共同参画を考える会



ちふれグループLGBTQ+アンバサダーの櫻木彩人氏をお招きし、「ありのままの自分で、ありのままの選択を」をテーマに講演会を開催。ご自身の経験からLGBTQ+や多様性社会についてご講演いただきました。アンケートには「LGBTQ+は身近な問題である」ことや「色々な立場の方がいる事を知った。決めつけをせず生活したい」等の意見がありました。一方で、「男女」の差や考えが未だ根付いているという意見も。引き続き男女共同参画社会の実現に向けて取り組んでいきます。

